

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 5 例 (感染地域: 千葉県 1 例、福岡県 1 例、韓国 1 例、カンボジア 1 例、タイ 1 例)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 32 例 (うち有症者 12 例、HUS 2 例) [感染地域: すべて国内 国内の多い感染地: 熊本県 17 例*、愛知県 4 例 *うち 16 例は、48 週から続く幼稚園に関連した集団発生 年齢群: 10 歳未満 (19 例)、10 代 (2 例)、20 代 (5 例)、30 代 (1 例)、40 代 (3 例)、60 代 (1 例)、70 歳以上 (1 例) 血清型・毒素型: O26 VT1 (16 例)、O157 VT1・VT2 (9 例)、O157 VT2 (2 例)、O157 VT1 (1 例)、O145 VT1・VT2 (1 例)、その他/不明 (3 例)]
- 4 類感染症: A 型肝炎 3 例 (感染地域: 大阪府 1 例、国内 (都道府県不明) 2 例)、つつが虫病 14 例 (感染地域: 鹿児島 3 例、神奈川県 2 例、岐阜県 2 例、熊本県 2 例、福島県 1 例、群馬県 1 例、千葉県 1 例、高知県 1 例、宮崎県 1 例)、マラリア 1 例 (熱帯熱 感染地域: マリ)、レジオネラ症 7 例 (すべて肺炎型) [年齢群: 50 代 2 例、60 代 1 例、70 代 3 例、80 代 1 例 感染地域: 北海道 1 例、岩手県 1 例、秋田県 1 例、新潟県 1 例、愛知県 1 例、滋賀県 1 例 (温泉)、大分県 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 4 例 (腸管アメーバ症 2 例、腸管外アメーバ症 1 例、腸管・腸管外アメーバ症 1 例) [感染地域: 国内 3 例、中国 1 例 感染経路: 経口 2 例、性的接触 (同性間) 1 例、不明 1 例]、ウイルス性肝炎 1 例 (B 型 感染経路: 性的接触 (異性間))、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例 (孤発性プリオン病古典型)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例 (血清群: A 群、40 代、死亡)、後天性免疫不全症候群 9 例 (無症候 7 例、AIDS 2 例) [感染地域: 国内 7 例、ブラジル 1 例、台湾/タイ 1 例 感染経路: 性的接触 8 例 (異性間 4 例、同性間 3 例、異性間/同性間 1 例)、不明 1 例]、梅毒 6 例 (晩期顕症 2 例、無症候 4 例)、破傷風 1 例 (40 代)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第 43 週以降、増加が続いている。都道府県別では宮崎県 (3.88)、大分県 (2.33)、岐阜県 (2.31)、滋賀県 (0.81)、沖縄県 (0.81) が多い。

小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 3,342 例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 72% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第 42 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では山形県 (2.3)、富山県 (2.1)、秋田県 (1.8)、北海道 (1.8) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では富山県 (5.1)、北海道 (5.0)、新潟県 (4.0)、山形県 (3.6) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県 (31.6)、宮城県 (28.7)、長野県 (25.1)、福島県 (24.0) が多い。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では島根県 (4.4)、宮崎県 (4.1)、大分県 (3.9)、宮城県 (3.4) が多い。手足口病の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では大分県 (2.7)、山形県 (2.0)、島根県 (1.7) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第 47 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では岩手県 (1.41)、石川県 (1.07)、北海道 (0.83)、宮城県 (0.79) が多い。百日咳の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では栃木県 (0.20)、島根県 (0.04) が多い。風しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では、青森県から 2 例、宮城県、埼玉県、大阪府から各 1 例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では岩手県 (0.23)、山梨県 (0.21) が多い。麻しんの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では茨城県 (0.07)、神奈川県 (0.02) が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県 (3.4)、青森県 (2.3)、大分県 (2.3) が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は 2 週連続で増加し、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では大阪府 (2.8)、群馬県 (2.8)、青森県 (2.7)、沖縄県 (2.3) が多い。成人麻しんは、北海道、東京都、神奈川県、鳥取県から各 1 例の報告があった。

	小児科定点													眼科定点		基幹定点										
	1)	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	2)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	3)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4)	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																										
愛媛県		.4	.2	2.6	22.6	3.2	.4	.7	1.2	.0					.7		2.8				1.3					
近県	香川県		2.4	.4	1.3	11.1	2.3	.8	.3	.4					.8		.3									
	徳島県	.0	1.0	.4	1.6	11.9	1.8	.2	.2	.8					.8		.7									
	高知県		.4	.0	2.6	22.6	1.6		.1	.4					1.6		1.0					.9				
全国	.3	1.1	.6	2.2	16.4	2.2	.5	.4	.5	.0	.0	.0	.0	.9	.0	.7	.0	.0	.0	.7	.0	.0	.0	.0	.0	
北海道	.2	1.5	1.8	5.0	9.7	2.9	.6	.8	.4			.0		1.1		.6				.0		.0		.0		
東北	.0	.9	.8	2.1	19.9	2.6	.5	.5	.6		.0	.1		1.4	.1	.7	.0	.0	.0	1.1	.1					
関東	.1	.9	.4	2.0	18.8	2.0	.3	.4	.6	.0	.0	.0	.0	.5	.0	1.0	.0	.0	.0	.1	.9			.0		
甲信越	.1	.5	.8	2.9	21.7	2.2	.4	.5	.5			.0		1.5	.0	.3			.0	.5						
北海道	.7	1.0	.6	2.1	13.6	2.0	.4	.6	.5	.0		.0		.8	.0	.3			.0	.8						
近畿	.2	1.1	.3	1.8	14.4	1.9	.4	.3	.5	.0	.0	.0	.0	.7	.0	.5	.0	.0	.0	.1	.7					
中国四国	.2	1.7	.4	2.1	15.7	2.2	.3	.3	.6	.0		.0		.8		1.0	.0	.0	.0	.5				.0		
九州沖縄	.7	1.4	.6	1.8	14.5	2.5	.9	.2	.6	.0		.1	.0	1.0	.1	.8	.0	.0	.0	.1	.3					

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。 (12月27日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第51週 (2006.12.18 ~ 12.24)

類 型 疾病名		二類感染症				三類 (1)腸管出血性大腸菌感染症	四類感染症														五類感染症																									
		(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス	(6)パラチフス		(1)E型肝炎 (ウエストナイル脳炎を含む)	(2)ウエストナイル熱	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(9)狂犬病	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ポツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢 (E型及びA型肝炎を除く)	(2)ウイルス性肝炎	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症						
第51週報告数	全 国		5			32		3						14						1					7		4	1			1	1	9					6	1							
	四 国	愛 媛 県																																												
		香 川 県																																												
		徳 島 県																																												
		高 知 県													1																															
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道																								1								1												
		東 北 関 東												1											2			1													1					
		甲信越北陸																																												
		東 海 近 畿																										1																		
		中国四国																																												
九州沖縄																																														
週 推 移	全 国																																													
	51週			5		32		3						14							1				7		4	1			1	1	9						6	1						
	50週			8		49	3	1						14	1						2				4	1	12	1			1	1	13						7	1						
	49週			3	2	39								20												7		8			2	3	10							10	2				1	
48週			12	1	32	1	2						17							1						6	3	1	1											3	1				4	
2006年累積数	全 国	46	474	70	24	3876	69	314	20	22	2	2	2	376	54	45	7	5		2	61		13	496	24	719	272	158	14	167	105	1272	83	14			613	114					74			
	四 国	愛 媛 県		6	2		16		4					2		8									2		5	4	1	1	3		7					4	2							
		香 川 県					20		1		3	2													3		4		1			1	4						12							
		徳 島 県					49		1							1															1									4	1					
		高 知 県		2	1		3		4						6		3	1									2	4	1				3					28	1							
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		2	3		81	19	13	19					1										3	21		25	4	8	3	7	8	27	1				9	6				4		
		東 北 関 東	2	18			370	2	10		3				138							1			1	4		27	20	8		6	4	35		2			43	3				5		
		甲信越北陸	7	36	3	2	301	7	25		1				50	3									2		16	21	13	1	22	5	53	3	1				25	7				4		
		東 海 近 畿	5	39	9	3	456	6	38	1	2				32	7	2								4	3	77		82	31	18		19	15	165	4	1			75	8			11		
		中国四国	4	16	3		413	3	41		3	2			28	1	16	2										35	29	19	1	19	7	42	4				69	16				4		
九州沖縄		4	42	4		787	6	27						69	5	18	5										36	26	18		20	4	63	8	3			124	32				5			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.12.27集計)